

手のふるえを起こす別の病気とは？

バセドウ病



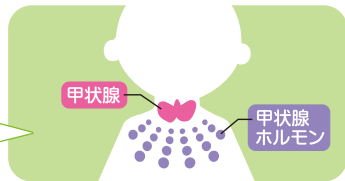
Dさん(50歳)

バセドウ病は免疫が異常を起こす病気です。免疫細胞が首にある甲状腺を過剰に刺激することで、動悸や倦怠感などの症状が起こります。Dさんは薬を飲み続けましたが効果はなく、やがて両手がふるえるように。バセドウ病では常に手がふるえる特徴があります。

Dさんのチョイスは… 甲状腺の手術

手術で甲状腺を取り除きホルモンの分泌を止めます。手術は無事成功し、手のふるえなどバセドウ病の症状は全くなりましました。

- 動悸
- けん怠感
- 下痢
- 発熱 など



他にふるえが起こる病気は？

●小脳の病気(脳卒中など)

小脳に異常が起きてふるえる場合があります。命に関わる危険を伴う可能性もあるので、迷わずすぐに救急車を呼びましょう。

●薬が原因のふるえ

一部の抗精神病薬や抗てんかん薬、胃腸薬、気管支喘息の薬が原因でふるえが起こる場合があります。たくさんのお薬を同時に服用していると相互作用で出ること。

ふるえが起きる病気はたくさんあります。それぞれの診断に応じて治療のチョイスがあるのでふるえが気になる人・困っている人は脳神経内科を一度受診して相談することが大切です。

ふるえの見分け方

	いつ	左右	特徴
本態性振戦	何かをするとき	両手	緊張でふるえが強くなる
パーキンソン病	何もしていないとき	片手(初期)	動作がゆっくりになる 嗅覚低下・便秘など
バセドウ病	常に	両手	動悸・多汗・首の腫れなど
小脳の病気(脳卒中など)	何かをするとき	片手	目標物に手を近づけるとふるえが大きくなる
薬が原因	薬によって違う		やめると改善

手のふるえベストチョイスへの道

ふるえの原因がわかれば
治療のチョイスがある

困っている人・気になる人は脳神経内科へ

チョイス
@病気になったとき
Eテレ/毎週土曜 午後8:00~8:45
番組ホームページ
<http://www.nhk.or.jp/kenko/choice/>

ふるえ治療についての詳しい情報はインターネットをご覧ください
www.furue.org



INSIGHTTEC



なんとかしたい 手のふるえ

新百合ヶ丘総合病院 脳神経内科 部長

眞木 二葉 先生

手がふるえる症状に悩む人は、全国におよそ300万人。ふるえにも色々なタイプがあり、仕事や生活に大きな支障が出る人も。そのほとんどを占めるのが「本態性振戦」です。病気で治療が必要なふるえについて原因と治療のチョイスを解説します。

本態性振戦とは

本態性振戦とは「原因不明のふるえ」で、動作時に起こります。脳で異常な信号が発生することで自分の意志と関係なく手が動いてしまうと考えられています。両手がふるえることが多いですが、特に利き手側に感じやすく、緊張でふるえが強くなります。生理的なふるえと異なり、特定の動作のとき毎回ふるえるのが特徴です。

本態性振戦で困るとき

- 文字を書く
- コップを持つ
- 箸を持つ
- ボタンを掛ける
- 携帯電話の操作をする
- 人前で何かをする

●40歳以上の4% ●20代・60代で多く発症

高齢者に多く認められますが、20代で発症するケースもあります。

Q

何科を受診する？



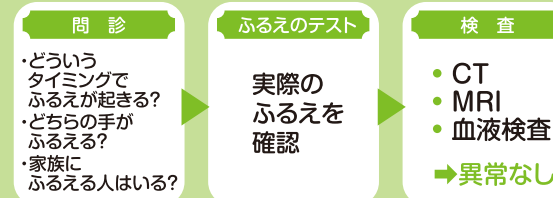
A

脳神経内科

- ・生活や仕事、学業に支障が出たとき
- ・ふるえが気になったとき

本態性振戦 診断の流れ

検査を行って異常なしとされれば本態性振戦と診断されます。ふるえのテストでは、文字を書いたり、コップを持つなど実際にふるえが起こる場面を再現します。





Aさん(63歳)

右手のふるえが気になりだしたのは30代。50代になると仕事にも支障が出るように。脳神経内科を受診し、検査を受けた結果、医師から本態性振戦と告げられました。

Aさんの**チョイス**は… **β遮断薬**

高血圧の治療にも使われるお薬です。異常な信号が脳から手の筋肉に届くのを遮断する効果があります。

Aさんはβ遮断薬を一日3回飲み続けたところ、およそ一か月で手のふるえはほとんど止まりました。β遮断薬には副作用があり、とくに心臓病・ぜんそく・糖尿病の方は注意が必要です。β遮断薬が使えない場合、その他の薬を用いることもあります。お薬で十分な効果が得られない場合、手術が検討されます。



副作用

- ・脈が遅くなる
- ・気管支が狭くなる

使えないβ遮断薬が

- ・抗てんかん薬
- ・抗うつ薬



Bさん(72歳)

7年前に肩の手術を受けた後、ふるえの症状が出始めました。後遺症と思っていたが肩に異常は見つからず、本態性振戦と判明。β遮断薬でふるえは軽減されましたが、薬を飲み続ける生活は苦痛だったといえます。

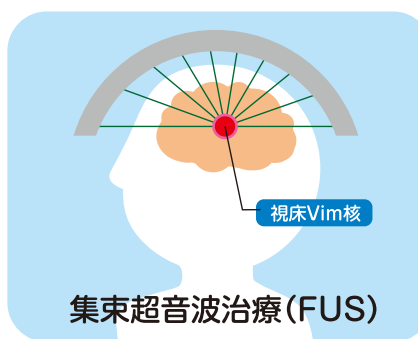
Bさんの**チョイス**は… **集束超音波治療(FUS)**



2019年に保険適応となった新しい手術です。ヘルメット型の装置から出る超音波を脳の視床Vim核に集中的に当てて熱で焼き固めます。1回の照射は20秒ほど。MRI画像でターゲットを確認しながら温度を慎重にあげていきます。治療中は医師と対話し、効果や副作用のチェックを細かく行います。治療にかかった時間は3時間ほど。周辺の脳にダメージを与えにくく、頭蓋骨に穴を開ける必要がないため患者さんの負担が少なく済みます。治療を受けられる病院は全国17施設です。(2021年7月現在)

片側のみ保険適用

両方にふるえがある場合は希望の側を医師と相談します。将来的には両側の保険適用が期待されています。



集束超音波治療(FUS)

副作用

・治療中の痛み・脳出血のリスク

手術中にすこし痛みを感じる方も。頭の中には細い血管も通っているので出血リスクがゼロではないと考えられています。

治療費

3割負担の場合
40万円程度
高額医療費制度適用
10万円程度
(収入・年齢による)

受けられない人

- ・頭蓋骨の密度のばらつきが大きい
- ・脳に他の病気がある
- ・脳の手術を受けたことがある
- ・認知症 など

他には… **高周波凝固術**

頭蓋骨に穴を開けて視床Vim核に電極を差し込み、電気で熱して固める方法です。ふるえを起こす異常な信号を測ることができ、焼く場所の確認がより正確です。

手のふるえを起こす別の病気とは？



パーキンソン病
70歳以上 およそ100人に1人
▶7割 手がふるえる

Cさん(70歳)

椅子に座っているだけでもふるえがあり、詳しい検査の結果、パーキンソン病が原因とわかりました。パーキンソン病は体の動きを滑らかにするドーパミンの分泌が減る病気で、動作がゆっくりになったり何もしなくても手がふるえます。

Cさんの**チョイス**は… **レボドパ**
(ドーパミンを補う薬)

レボドパはドーパミンを補う薬です。Cさんは薬の服用でふるえをかなり抑えられるようになりました。

パーキンソン病は進行するとレボドパの効果が短くなります。その場合、ドーパミン受容体刺激薬・抗コリン薬などを併用します。また脳の手術も検討されます。

Q

パーキンソン病も
集束超音波治療(FUS)を使える？

A

2020年パーキンソン病にも
保険適用※

ただしパーキンソン病にはふるえ以外にも症状がありますが、改善できるのはふるえだけです。主治医の先生によく相談を。

※詳しくは医師にお尋ねください